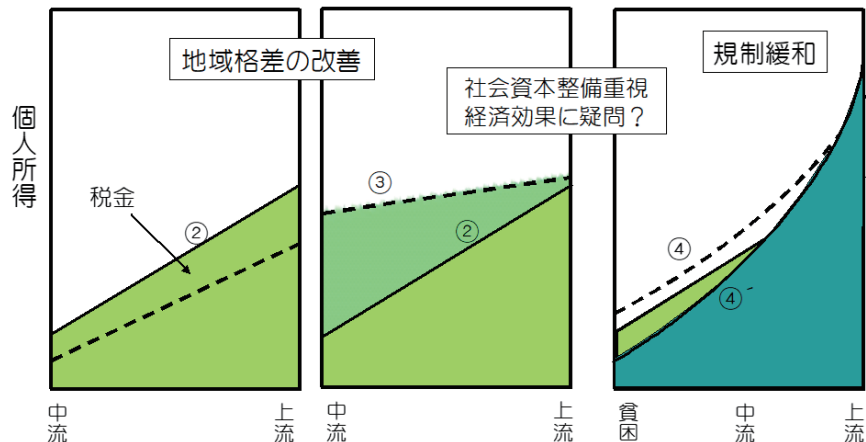


昭和45年～現在

ケインズ型経済

新自由主義型経済
(ハイエク型経済)



昭和47年日本列島改造論(田中角栄)

格差社会

ミハエル・エンデの遺言

～根源からお金を問う～

(1999年に放送されたNHK、BS1の放送より)

私が考えるのは、もう一度貨幣を『**実際になされた仕事や物の実体に対応する価値**』として位置付けるべきだということです。

そのためには現在の貨幣システムの何が問題で、何を**変えなくてはならないか**を皆が真剣に考えなければなりません。人類がこの惑星上で今後も生存できるかどうかを決める**決定的な問い**だと私は思っています。

重要なポイントは、例えば**パン屋でパンを買う購入代金**としての**お金**と**株式取引所で扱われる資本としてのお金**は2つの異なった種類のお金であるという認識です。

下村 治の残した言葉

「**経済的に高い水準を達成したうえのことだが、ゼロ成長の日本は江戸時代のような姿になるの**がいい。

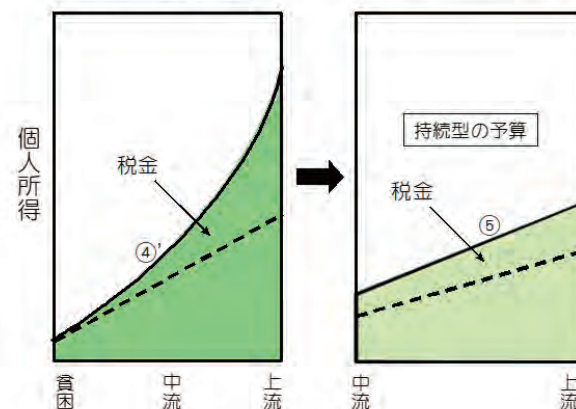
経済の後には文化とか芸術とか教養に力を入れる時代になるべきじゃないのかな。」

水木楊：「エコノミスト三国志 ～戦後経済を創った男たち～」

将来のわが国の経済は江戸時代型

新自由主義型経済
(ハイエク型経済)

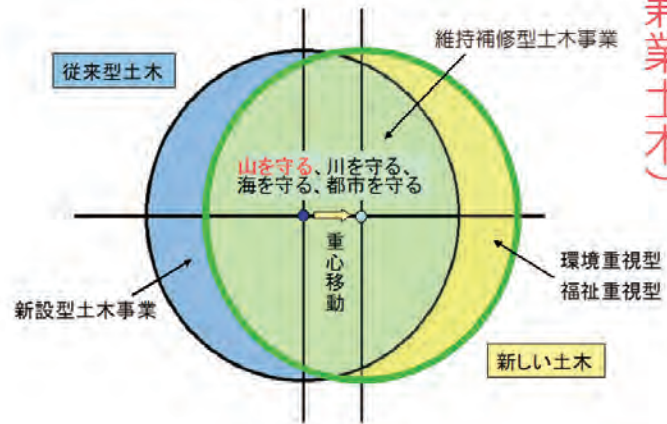
環境型ケインズ経済?



江戸時代型経済

持続型経済下での 土木技術

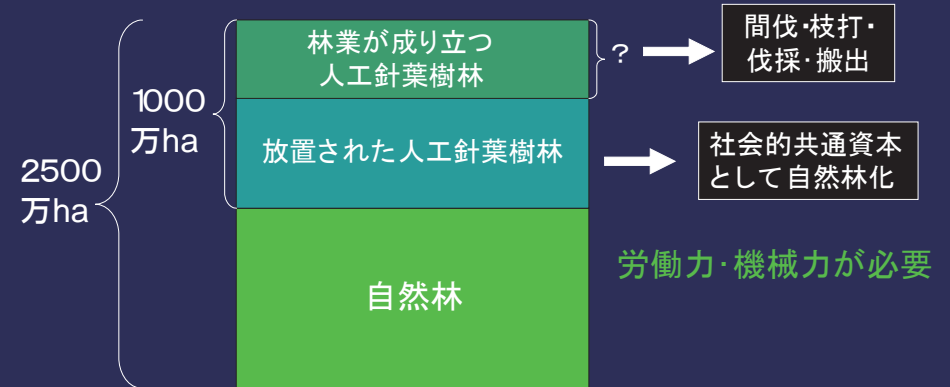
新しい土木を模索して



（兼業土木）
重心移動が必要である

わが国の山林

わが国の国土、3774万haのうち66%の2500万haが森林である。森林のうち40%が人口針葉樹林である。



林業と建設業の連携を促進する必要がある。日本は、山地的な国土を有している。国土の約70%が森林である。林業は、国土の再生と持続可能な発展に重要な役割を果たしている。林業と建設業の連携を促進し、森林の再生と持続可能な発展を実現するために、林野庁と国交省が共同で、森林の再生勉強会を08年6月に立ち上げた。



30周年座談会

2023.2.13

生きものとしての土木

JT生命誌研究館
中村桂子

◆◇ 35周年記念 コイシ塾 ◇◆
講師：中村 桂子様 (JT生命誌研究館 名誉館長)
開催日時(予定)：2月13日(月) 10:00～
内容：35周年記念 特別座談会

- 本質を問う(内発的)
- 時代認識をもつ
- 権力からの自由

- 人間は生きもの
- 人間は自然の一部



【生命誌総巻】協力：田まりな 画：橋本梓子

10 人生 = ♪ 出会い

拝啓 前略
予定の1日遅れで Freiburg に到着
し、明日(6/2)から Goethe-Institut
の家に入居ることです。予定か
1日遅れたのは、正反對の列車に乗っ
てしまったからです。Frankfurt から東
の Fulda とは行かず、西へは、
知れずホテルを探し、食事を探し、
何かの用事でも、何かの用事でも、
Goethe の 日本国総領事館から派遣
された日本人(男、32才)に会って、いろいろ
親切に教えて頂き、心強く感じました。
御到着に就いたすに、厚くお慶びです。1.6.1991 Freiburg 112

〒854
長崎県諫早市天蔭町9-10
松田義親様

Japan
MIT LUFTPOST
PAR AVION



1989.06.02
長尾秀樹さん(アジア開発銀行)



日本開発銀行 長尾秀樹氏



科学技術振興機構
「地域再生人材創出拠点の形成」事業
審査委員会 座長

【略歴】

東京大学法学部において学位取得。
2004年9月から2010年1月まで当社取締役。
1980年以降、日本開発銀行（現株式会社日本政策投資銀行）に勤務。
2006年日本政策投資銀行新産業創造部長（ベンチャー企業向け貸出・投資、ファンド組成、VC管理担当）を経て2008年6月SGホールディングス㈱経営戦略部担当部長以降
2009年6月佐川フィナンシャル㈱代表取締役社長
2012年1月佐川グローバルロジスティクス㈱取締役
2013年4月SGアセットマックス㈱代表取締役社長
を経て2017年3月より佐川アドバンス㈱・SGシステム㈱監査役

2022.11.29

松田 浩 様

前略

ご無沙汰しております。お元気ですか？
毎年年賀状のご挨拶ですが、今回はお便りさせていただきました。

突然のお便りですが、理由があります。先般11月19日(土)朝日新聞首都圏版夕刊を見ていたところ、長崎大学の「道守」の記事がありました。

「長崎大は「道守」という資格もつかった・大学内部のインフラ長寿寿命化に取り組む機関が、市民らに管理技術の養成講座を開き、認定する・道路や橋に異常を見つけたら大学を通じて県に通報する人材から、危険度を診断、補修計画を立てる人材まで四つのコースがあり、レベルに応じて実習時間を設定、育成してきた・県内を中心に現在千人が活動に関わっている。」

長崎は橋の維持管理の分野で先進県ともいえる存在となり、長崎大がJICAの途上国を対象とした道路や橋の維持管理の人材育成事業にかかわることになったという・・・」

以前に年賀状で「道守」の進捗について教えていただきましたが、このように大きく成長したことに感慨深いものを感じ、筆をとった次第です。おりしもNHK朝ドラ『舞い上がれ』で、長崎も舞台となり、そういえば松田先生はどうしているだろうか、と思っただけでした。

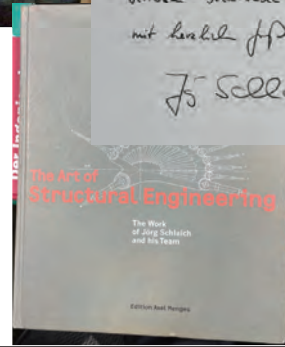
振り返れば、何年前か忘れましたが、科学技術振興機構 JST の助成プログラム対象プロジェクト選定委員会で、久しぶりに松田先生にお目にかかり、「道守」プロジェクトの説明を聞いたことが思い出されます。あの時は私が座長でしたので、選定にあたり「権限」を行使しましたが、将来の日本のインフラの維持管理更新問題を考えると、意義のあるプロジェクトであることは疑いなく、また、松田先生の独留学の経験とそこで得られた知識も知っていましたので、選定しても全く問題はないと考えていました。そして現在このように社会的認知を得られたことは、選定責任者としても嬉しい限りです。

記事では先生のお弟子さんでしょうか、プロジェクト推進者として長崎大学大学院工学研究科の西川貴文准教授のお名前がいましたが、「道守」の生みと最初の育ての親は、松田先生であり、このプロジェクトには先生の名前が刻まれることになるでしょう(いずれ「叙職」の可能性もあるのでは!?)。





Kindle Matade
mit herzlich ff
Jo Schlaich
27.4.2011



Prof. Dr.-Ing. F. Leonhardt



山崎淳先生

池田尚治先生

池田甫様

土木学会鋼構造委員会 (1995-2000年)

ロングスパン・スペース構造研究小委員会構成

(50 音順, 敬称略, ○印幹事業務)

- | | | |
|-----|-------|---------------------------|
| 委員長 | 波田凱夫 | 摂南大学工学部土木工学科 |
| 幹事長 | 藤野陽三 | 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻 |
| 委員 | ○阿井正博 | 法政大学工学部土木工学科 |
| 〃 | ○石川智巳 | (財)電力中央研究所 我孫子研究所 |
| 〃 | 井上雅雄 | (株)宮地職工所 設計部 |
| 〃 | 大野克紀 | 川田工業 技術開発本部 技術研究室 |
| 〃 | 金子俊一 | (株)横河ブリッジ 橋梁本部 工務部 |
| 〃 | 木内龍彦 | 大阪市立大学工学部建築学科 |
| 〃 | 木村吉郎 | 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻 |
| 〃 | 鈴木政直 | 石川島播磨重工業(株) 橋梁基本計画部 |
| 〃 | ○頭井 洋 | 摂南大学工学部土木工学科 |
| 〃 | 高尾道明 | NKK 橋梁建設部 開発技術室 |
| 〃 | 田中 洋 | 日立造船(株) 鉄構・建機事業本部 建築土木設計部 |
| 〃 | ○田波敏行 | 太陽工業(株) 空間技術研究所 |
| 〃 | ○長井正嗣 | 長岡技術科学大学工学部環境・建設系 |
| 〃 | ○古屋信明 | 本州四国連絡橋公団 設計部 |
| 〃 | 星整正明 | 日本大学理工学部交通土木工学科 |
| 〃 | 前田研一 | 東京都立大学工学部土木工学科 |
| 〃 | ○松田 浩 | 長崎大学工学部構造工学科 |
| 〃 | 増田陳紀 | 武蔵工業大学工学部土木工学科 |
| 〃 | 水澤富作 | 大同工業大学工学部建設工学科 |
| 〃 | ○山口宏樹 | 埼玉大学工学部建設工学科 |
| 〃 | 山田 均 | 横浜国立大学工学部建設学科 |



招待講演

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|---------------------|
| 阿部雅人 | (東京大学) | 春日 昭夫 | (住友建設) |
| 春日昭夫 | (住友建設) | 川口 衛 | (法政大学) |
| 川口 衛 | (東京大学) | 熊谷伸一郎 | (住友建設) |
| 熊谷伸一郎 | (住友建設) | 謝 旭 | (埼玉大学, 現・開発コンサルタント) |
| 謝 旭 | (埼玉大学, 現・開発コンサルタント) | 樋口 健 | (文部省宇宙科学研究所) |
| 樋口 健 | (文部省宇宙科学研究所) | 風間浩二 | (住友重機械工業) |
| 風間浩二 | (住友重機械工業) | | |

長崎大学「ルー」講座2011
東日本大震災後の日本を考える
「巨大災害と社会基盤:その「進化」と課題」
2011年11月11日(金)



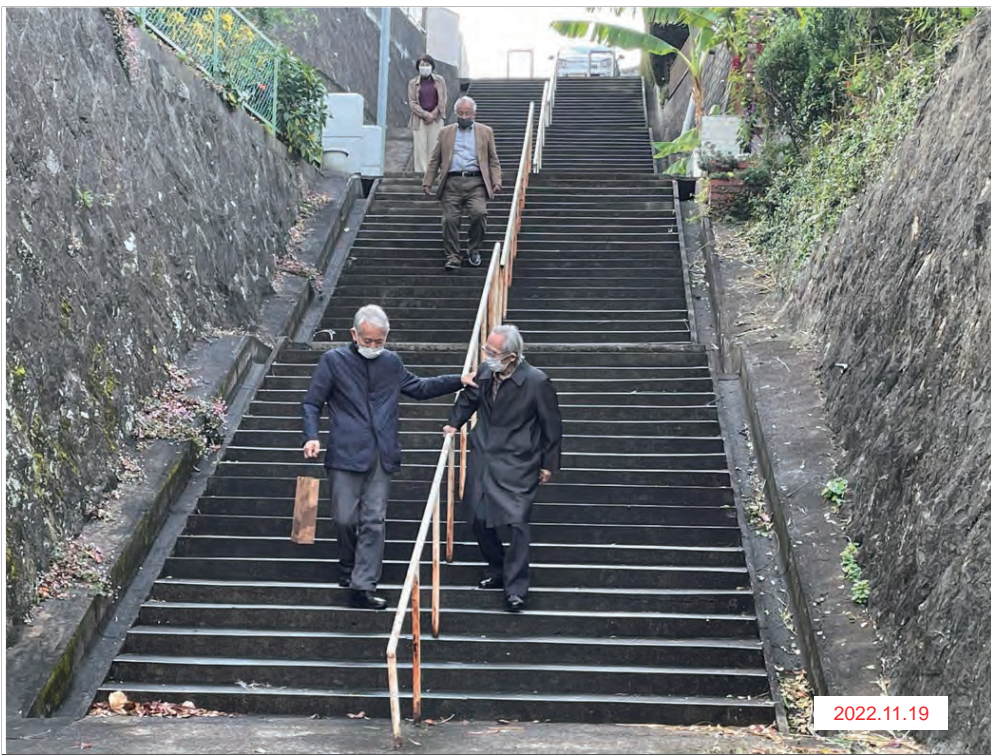
中村聖三先生

家田仁先生 (東京大)

森田千尋先生

寿田先生





ご清聴ありがとうございました



「道」 《東山魁夷》



昭和の子供の四季カレンダーより
《出光隆 先生》